

令和4年度 第1回鴨川市総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和4年10月20日(木) 開会 午前10時00分
閉会 午後1時00分
- 2 場 所 長狭中学校 2階 多目的室
- 3 出席者 (1) 長谷川孝夫 市長 (2) 鈴木 希彦 教育長
(3) 石井 千枝 教育委員 (4) 根本新太郎 教育委員
(5) 吉原 里夏 教育委員 (6) 永島 康弘 教育委員
*事務局職員
(7) 山口 昌宏 教育次長 (8) 関口 和則 学校教育課長
(9) 加藤 貴之 学校教育課指導主事 (10) 鈴木 香 学校教育課指導主事
(11) 儀貝亜也子 学校教育課指導主事
*長狭中学校職員
(12) 鈴木 智夫 校長 (13) 助川 孝浩 教頭

4 開会・出席者紹介（儀貝学校教育課指導主事）

- 儀貝学校教育課指導主事から、出席委員及び関係職員が紹介された。また、今後の日程や授業参観等についての確認がなされた。

5 市長挨拶（長谷川市長）

改めまして皆さんおはようございます。すばらしい秋がやって参りました。

本日は、令和4年度第1回総合教育会議にご出席をいただき、ありがとうございます。教育委員の皆様には、日頃、教育に関する高い識見と熱意をもって、教育行政の充実に御尽力をいただいておりますこと、改めて御礼申し上げます。ありがとうございます。

収束の見えないコロナ禍にあって、感染者数が減少傾向にありますが、まだまだ予断を許さない状況でございます。市民の暮らし・命を守る立場といたしましては、しっかりと対応していかなければならないと改めて思っているところです。また、インフルエンザとの関係におきましても、油断できないと思っており、しっかりとした対策を行っていかねばならないと思っております。

学校が2学期を迎え、コロナウイルス感染症の状況を心配しておりましたが、校長先生から修学旅行も順調に進んでいるとの話を聞きました。市といたしまして、今後、オミクロン株対応ワクチンを接種する機会をしっかりと確保する必要があると考えます。子どもたちにとって、かけがえのない学校生活と安全安心の両面を守るよう努めて参りたいと思っております。また、成人につきましても、3回目、4回目、更にオミクロン株対応のワクチン接種を急ぐ環境を整えているところでございます。私は、この感染症にとってワクチン接種が1番の効果的なものであるとの認識を持っておりますのでご理解をいただきたいと思います。

さて、昨年10月に、同じように会議を行わせていただきました。その時には「鴨川市教育に関する大綱」を第3期教育振興計画とさせていただきます。この第3期教育振興計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間の計画でございます。本年はこ

の計画の2年目となります。本年度におきましても、この振興計画に基づいた施策を確実に実施して参りますので、ご理解とご協力をお願いしたいと存じております。

なお、本年の2月に開催いたしました、第1回市議会定例会において施策方針を示させていただいたわけですが、本市の将来を見据えまして、重点的に取り組むべき施策の1つが「教育と文化の振興」でございます。あえてここで申し上げさせていただきますと、教育と文化の振興でございますが、一つには、学校教育におきまして、将来を担う子どもたち一人ひとりが健やかに成長し、豊かに生きる力を身につけることができる本市教育の中心的課題として掲げております保幼小中一貫教育を推進する。これが大事であります。そして、保護者や地域住民のニーズを学校運営に反映させた学校運営協議会、これをしっかり行うことを改めて確認させていただきます。コミュニティスクール化を進めまして、地域ぐるみでの教育環境の充実に努めると共に、今年度、その第一歩を踏み出したところでございますので、ご理解をいただきたいと思います。

具体的な取組といたしましては、ICT機器を活用した学習の推進をはじめ、「わかる・できる」授業づくりを行うための教師力の向上が大切であります。学校の役割は何か、これを常に学校教育の場においては考えていただきたいと思います。そして、「わかる・できる」授業を行うためには教師力の向上を図ることが大切であると、常々、申し上げさせていただいているところでございます。また、教育支援センター「ステーション」を中心とした、いわば不登校支援の充実、これも大切な仕事でございます。更には加えまして、安全な通学路の整備などの環境改善が必要でございますが、今後は、将来を見据えた学校施設等の適正配置にも取り組んで参りたいと思っております。ご案内のように、既に教育委員会会議の中でお話があったかと存じますが、本市の学校、特に小学校につきましては、校舎等の状況がたいへん厳しいところもございまして、今後、将来を見据えた、まさに50年先を見据えた適正配置にもしっかりと取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

学校教育に続きまして、2つ目といたしまして、生涯学習についてでございます。利用者のニーズに即しました公民館活動の充実・活性化を図る必要がある。このように申しておるところでございますが、皆様ご案内のとおり、公民館等の施設の改編・再編等が課題としてあげられているところでございます。教育委員会の皆様方からも、今後をしっかりと見据えた、様々なご意見をいただければ、また、既にご意見をいただいているところもございしますが、今後もお力添えを賜れば大変ありがたいと存じます。また、これもご案内のように、3年ぶりに早稲田大学の協力をいただきながら「おもしろ科学実験教室」を開催させていただきました。鴨川市にはいくつかの大学があります。東洋大学あるいは早稲田大学、更には、千葉大学、東京大学等々あるわけですが、こうした大学との協力関係をしっかりと維持・発展に努めながら、市民の学習の機会をしっかりと図っていききたい、環境を整えて参りたい、大学の知識・資産をしっかりと共有しながら、鴨川市民も勉強する機会を持っていただければありがたいと思っております。

3つ目といたしまして、文化・芸術の分野についてでございますが、今、文化財等の活用・維持管理が非常に難しくなっているところでございます。この文化財保存活用地域計画の策定に向けた作業を進めていかなければいけないものと思っておりますので、本市の持っている重要な文化財・伝統芸能等の確保・その保存に努めることが大事であると思っておりますので、引き続き、文化芸術団体の活動支援を進

めて参りたいと考えております。

以上、何点か申し上げさせていただきました。今日は、限られた時間ではありますが、皆様としっかりとした意見交換・情報交換をさせていただき、共有させていただきながら、本市の教育の推進につきまして、ご尽力頂きますようお願い申し上げ、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞ、今日はよろしくお願ひいたします。

6 校長より

- 鈴木校長から、小中一貫校長狭学園における学校経営の概要及び児童等の状況について、資料をもとに説明がなされた。

助川教頭の案内により授業参観（10:30～11:10）

7 確認事項（関口学校教育課長）

- 関口学校教育課長から、授業参観の感想や小中一貫教育に対する質疑等を行うことで、小中一貫教育の推進についての確認としたいとの説明がなされた。
 - ・ 永島委員から、児童生徒の自主性を育てるノーチャイムデーの取組について発言がなされた。
 - ・ 鈴木校長から、長狭学園におけるノーチャイムの取組及びその成果について、具体例をあげて説明がなされた。
 - ・ 根本委員から、小中一貫校における教職員の負担増について質問がなされた。
 - ・ 鈴木校長から、小中合同で情報共有を行うため、会議時間が長くなる傾向がある。会議時間の短縮について現在検討を行っているとの説明がなされた。また、小中の教職員が校種を越え、相互に乗り入れて授業実践を行うことで、児童生徒にとっても、教職員にとってもプラスの面が大きいとの説明がなされた。
 - ・ 長谷川市長から、校種を越えての授業実践がどの程度行われているのかとの質問がなされた。
 - ・ 助川教頭から、小中それぞれの教員が校種を越えて授業実践する教科について説明がなされた。
 - ・ 長谷川市長から、小中一貫校としての特色ある取組である、校種を越えた相互授業について、児童生徒への対応がどうなされているのかとの質問がなされた。
 - ・ 助川教頭から、複数の職員が児童生徒に対応できる利点や、専門性の高い教職員による指導効果について説明がなされた。
 - ・ 鈴木教育長から、中学校の専科教員が体育等の全体指導を行うことへのデメリットについて質問がなされた。
 - ・ 鈴木校長から、学級担任がティームティーチングによって、専科教員から学ぶ機会となることから、デメリットよりもメリットが多いとの説明がなされた。
 - ・ 石井委員から、児童生徒のマナーや挨拶の良さについて報告がなされた。また、少人数学級における弊害や不安について発言がなされた。更に、放課後のドリルタイムについて質問がなされた。
 - ・ 鈴木校長から、他校やこども園との交流を積極的に行うことで、少人数学級の弊害を補っているとの説明がなされた。また、助川教頭から、ドリルタイムの実施内容等について具体的な説明がなされた。

8 協議事項（関口学校教育課長）

関口学校教育課長から、「鴨川市総合教育会議運営要綱」第3条に「会議は、市長がその議長となる。」と定められていることから、日程4の協議事項から日程5の意見交換の議長を長谷川市長にお願いする、との依頼がなされた。

(1) 鴨川市の部活動地域移行について

- ・ 加藤指導主事から、「鴨川市の部活動地域移行について」資料をもとに説明がなされた。
- ・ 永島委員から、生徒の希望する部活動と学区外通学の関係及びアンケート調査の内容について質問がなされた。
- ・ 関口学校教育課長から、小規模校での対応が難しいチームスポーツについては、市内におけるクラブチーム化を含め、多様な考え方をしていく方法もあるとの説明がなされた。また、アンケート調査については、多様性・柔軟性をもたせたものになるよう検討していきたいとの説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、クラブチームの大会参加について質問がなされた。
- ・ 鈴木校長から、小中体連の参加規定及び今後の見通しについて説明がなされた。また、他県における部活動地域移行先進地域の取組についての報告がなされた。
- ・ 永島委員から、千葉県内における先行事例についての質問がなされた。
- ・ 加藤指導主事から、柏市における取組についての報告がなされた。
- ・ 鈴木校長より、令和3年度の研究指定が柏市と陸沢町、今年度、袖ヶ浦市と白子町が加わったとの補足説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、課題としてあげられる指導者の確保や報酬について、県教育委員会等の方向性について質問がなされた。
- ・ 関口学校教育課長から、県教育委員会からの具体的な方向付けがなされていないこと、また、報酬や指導者の確保について今後の検討材料であるとの説明がなされた。
- ・ 吉原委員から、保護者や生徒の目指す目標によって、指導者の選定や報酬の在り方も変わってくるのではないかとの意見が述べられた。
- ・ 長谷川市長から、今後の課題として、指導者としての教職員の兼業や兼職、外部指導者の招聘の在り方等について整理していく必要があるとの意見が述べられた。
- ・ 根本委員から、部活動地域移行と地域で進める小中一貫教育について、教師の業務負担軽減と兼業兼職の在り方について、また、アンケート調査結果をどうまとめていくかについて、様々な検討が必要であるとの意見が述べられた。
- ・ 長谷川市長から、アンケートの内容について質問がなされた。
- ・ 加藤指導主事から、千葉県教育委員会発出の地域部活動設置マニュアルを例に、今後のアンケート調査の内容を精査していくとの説明がなされた。
- ・ 根本委員から、部活動未加入生徒についての質問がなされた。
- ・ 加藤指導主事から、鴨川中学校における部活動未加入生徒の状況についての説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、アンケート内容を含め、部活動地域移行について、今後、教育委員会内で更に検討を進めていくこととするとの方向付けがなされた。

9 意見交換（長谷川市長）

長谷川市長から、意見交換のテーマは、「校務支援システムの活用について」及び「学校運営協議会の推進について」の2点とする、との発言がなされた。

(1) 校務支援システムの活用について

- ・ 鈴木校長から、通知表の作成等で活用を図っているが、新しいシステムに馴染みきれていない現状がある。慣れてくるに従って更に活用が図られていくと思われる。また、他校職員との連絡もメール等を使って有効に活用できているとの報告がなされた。
- ・ 助川教頭から、教科指導や生徒指導における職員間の情報共有に役立てられている。また、学力向上委員会等における学校間での連携にも役立てられている。この後、更に活用が図られるであろうとの補足説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、教職員の業務負担の軽減によって子どもに寄り添う時間が増加するであろうこと、また、継続的な指導が可能となることが、校務支援システム導入の目的であったが、このことについてどうかとの質問がなされた。
- ・ 助川教頭から、業務の軽減は図られている。教材研究の時間が確保されたり、生徒指導面での情報共有がこれまで以上になされたりするなど、よりよい実践につながりつつあるとの報告がなされた。
- ・ 根本委員から、ランサムウェア等のコンピュータウイルス対策について質問がなされた。
- ・ 加藤指導主事から強固なセキュリティのもと管理されているとの説明がなされた。

(2) 学校運営協議会の推進について

- ・ 加藤指導主事から、資料をもとに各小中学校における第1回学校運営協議会の実施状況及び今後の見通しについての説明がなされた。
- ・ 長谷川市長から、学校運営協議会の実施によって、地域の声が学校に届くことのできる、開かれた学校運営が行われているかとの質問がなされた。
- ・ 加藤指導主事から、そのとおりであるとの報告がなされた。

市長及び教育委員が給食を試食（12:20～13:00）

- 嶋津学校教育課長補佐から、学校給食センターの概要について、資料をもとに説明がなされた。
- 庄司栄養教諭から、本日の献立及び地産地消の取組について説明がなされた。また、給食アンケートの調査結果について、資料をもとに説明がなされた。
 - ・ 長谷川市長から、地産地消への取組を実施するための食材料確保について質問がなされた。
 - ・ 庄司栄養教諭から、本日の食材料を例にあげ、具体的な説明がなされた。
 - ・ 長谷川市長から、本日の給食に占める地産地消の割合について質問がなされた。
 - ・ 庄司栄養教諭から、本日はおおよそ50%であるが、時期により変動があるとの回答がなされた。

10 閉会

- 関口学校教育課長が、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和4年12月12日

鴨川市長 長谷川 孝夫

議事録作成（学校教育課長 関口 和則）